就任のご挨拶

宮司　須﨑　裕

はじめに、今年八月広島県北部を襲った土砂災害により多くの方々が尊い命を奪われ、沢山の家が流され、今なお不自由な避難生活を余儀なくされている皆様に心よりお見舞い申し上げますと共に、亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げる次第であります。

私、この春三月八日に行われました神職会において宮司に推薦を戴きました、須﨑　裕でございます。何分にも浅学非才の身と若くない年齢でもありまして、この重職を全うすることが出来るのか逡巡しておるところでございます。内心忸怩たる思いですが、お受け致した以上は御嶽大神のご加護の下、矜持をもって「一意専心」神明に奉仕させて戴く所存でございますので、ご懇篤なるご指導を賜りたくお願いを申し上げます。

さて就任してすぐにでも取り組まなければならない大きな事業と致しまして、三年後の平成二十九年に執り行われます十二年に一度の酉年式年大祭がございます。この大祭に併せて長年の雨風により退色著しい幣・拝殿及び向拝の彩色漆工事を総工費一億一千萬円にてご奉仕させて戴くことになりました。神社と致しましても鋭意努力を致して参る所存でございますが、ご講中、崇敬者各位におかれましても特段のご協力ご支援をお願い申し上げる次第でございます。

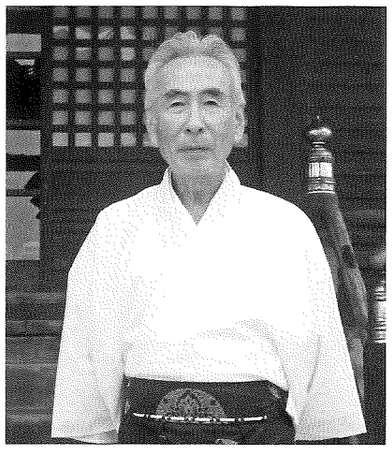
また一方でこれからの神社を取りまく状況も厳しい時代を迎えようとしております。社家の後継者の問題をはじめ、講中存続の危機、高齢化による講員の減少、また参拝客の落ち込み等様々な課題を抱えております。

「跂つ者は立たず跨ぐ者は行かず」の精神で皆様のご意見を承りながら出来ることから着実に対応して参りたいと考えております。

これからも神社発展の為、微力を尽くして参りたいと存じますので、一層のご支援、ご厚情を重ねてお願い申し上げます。

御岳山はすっかり秋色濃く、満開の萩の花に秋虫の女王「邯鄲」が競いあって素晴らしい鳴き声を響かせております。間もなく紅葉の季節を迎えます。大勢の方々のご参拝を心よりお待ち申し上げまして、宮司就任のご挨拶とさせて戴きます。

平成二十六年九月三日



平成二十九年酉年式年大祭

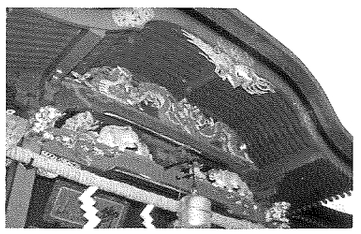
三年後の平成二十九年は、江戸時代より酉年式年大祭と称した、酉年ごとの十二年に一度の大祭が斉行されます。

大祭期間中は「蔵王権現」様に外陣へお出まし頂き、一日二回ご開扉申し上げ、参拝者の皆様にはお近くまでお進みのうえ諸願成就を祈念して頂ける特別な年です。

それに伴い記念事業として、退色著しい向拝を始めとした彩色及び漆工事をご奉仕する事となり、多くの崇敬者の皆様から特段のご支援を賜っているところです。

来年五月頃からは式年大祭に向け、いよいよ向拝等の彩色及び漆工事を始める運びとなりました。工事の期間中参拝者の皆様にはご不便をお掛けいたしますが、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

また、今後も記念事業資金については引続きお願いをするところでございます。何卒宜しくご高配賜りますようお願い申し上げます。



奉納

式年大祭（一万円以上・敬称略）

平成二十六年二月一日～八月三十一日

金一封
青梅市　石川要三

百万円以上
青梅市　金井國俊

五十万円以上
新座市　株式会社髙野土地
　代表取締役髙野鉄夫

三十万円以上
日の出町　小澤政喜
福生市　村野弘一

十万円以上
板橋区　田中為三
川口市　濱中宗祐
横浜市　板垣守寿
青梅市　株式会社三愛
　代表取締役原嶋和利
新座市　石神講

三万円以上
練馬区　尾崎早苗
羽村市　渡邉真理
川島町　松本辰男
ふじみ野市　塚本雅哉
富士見市　鶴馬紺屋　横田登
中央区　根岸邦和
青梅市　前田達男
五霞町　金子一郎
江戸川区　宇田川洋子
青梅市　小林権四郎
江戸川区　榎本勝敏
横浜市　榎本君江
厚木市　刀田裕二
厚木市　横山眞理子
厚木市　古田治子
厚木市　古田知明希
古田彩歌

一万円以上
狭山市　松本和治
さいたま市　酒井靖夫
深井敏子　萩本實
富士見市　水子石井講
青梅市　伊藤園　伊藤やよい
武蔵村山市　江尻哲夫
大田区　野呂田伸悦
飯能市　土屋正明
練馬区　漆原一喜
町田市　山口造園　山口幸三
本庄市　福島清吉
相模原市　村田崇
足立区　氣亜の郷経絡穴治療院
　佐藤泰
足立区　氣亜の郷経絡穴治療院
　加藤栄子
草加市　藤本留美子
さいたま市　宮井章
豊田市　鳴田浩典
江戸川区　侑スペースシップ　梅原英明
青梅市　杉田克明
鎌倉市　飯田真弓
西東京市　酒井英男

奉納・営繕資金（一万円以上・敬称略）

平成二十六年二月一日～八月三十一日

三万円以上
昭島市　東京島根県人会　会長
　扶桑建設株式会社　星野宗保
奥多摩町　大久保雄二
青梅市　小澤恒夫

一万円以上
所沢市　神山友和
板橋区　上板橋桜川敬神講
さいたま市　深井　明
さいたま市　伊藤美幸
北本市　清水元美
皆野町　金子千侍
練馬区　大泉辛酉講　講元　加藤友久
練馬区　大泉辛酉講
武蔵野市　関前講中
あきる野市　高瀬講中　講元　小野源一
日野市　白根眞澄
青梅市　瀧　柱郎
青梅市　武藤治作酒店　武藤一由
青梅市　大久保貴惟
羽村市　相川盛心
葛飾区　福島　孟
葛飾区　福島　馨
板橋区　新小岩御嶽の会
葛飾区　板橋天祖神社　宮司　小林保男
板橋区　上板橋桜川敬神講
富士見市　諏訪神社　宮司　羽鳥喜美
鶴馬紺屋　横田　登
三田地区神社総代会　戸井田浩一
中島昇一
小早川　明
鶴馬紺屋　横田　登
ディビット・アイラー　山上祐里
東海林　守
箕輪治洋
青梅市　福島　磐
越谷市　新小岩御嶽の会
秦野市　板橋天祖神社　宮司　小林保男
富士見市　上板橋桜川敬神講
青梅市　神山友和
深井　明
伊藤美幸
清水元美
金子千侍
大泉辛酉講　講元　加藤友久
関前講中　講元　小野源一
高瀬講中
白根眞澄
瀧　柱郎
武藤治作酒店　武藤一由
大久保貴惟
相川盛心
福島　孟
福島　磐
新小岩御嶽の会
板橋天祖神社　宮司　小林保男
上板橋桜川敬神講
諏訪神社　宮司　羽鳥喜美
三田地区神社総代会　戸井田浩一
中島昇一
小早川　明
鶴馬紺屋　横田　登
ディビット・アイラー　山上祐里
東海林　守
箕輪治洋

太々神楽奏上者

武州みたけ第三十四号（平成二十一年六月～）以降の太々神楽奏上者を掲載いたします。

近年太々神楽奏上が少なくなっております。皆様の御奏上をお待ちしております。

（平成二十六年八月三十一日まで）

平成二十一年六月以降
川崎市　市ノ坪講中
青梅市　カンタンをきく会
　御岳山観光協会
横浜市都筑区　茅ヶ崎講中
川崎市中原区　宮内講中

平成二十二年一月～十二月
狭山市　笹井御嶽講中
川崎市　馬絹講中
町田市　町田・多摩・小野路講中
川崎市中原区　小杉御嶽講中
あきる野市　菅生講中
立川市　砂川五番組講中
秦野市　秦野太々講中
川崎市中原区　井田講中
川崎市　菅芝問講中
川崎市　六郷参拝講中
秦野市　今井講中
川崎市　松戸御嶽講中
川崎市　浜田山講中
杉並区　カンタンをきく会
青梅市　御岳山観光協会

平成二十三年一月～十二月
横浜市都筑区　富士見市
川崎市中原区　川崎市
平成二十二年一月～十二月　世田谷区
狭山市　茅ヶ崎講中
川崎市　宮内講中
町田市　笹井御嶽講中
川崎市中原区　馬絹講中
あきる野市　町田・多摩・小野路講中
立川市　小杉御嶽講中
秦野市　菅生講中
川崎市中原区　砂川五番組講中
川崎市　秦野太々講中
川崎市　井田講中
川崎市　菅芝問講中
秦野市　六郷参拝講中
川崎市　今井講中
川崎市　松戸御嶽講中
松戸市　浜田山講中
横浜市神奈川区　カンタンをきく会
大田区　御岳山観光協会
川崎市　坂戸御嶽講中
横浜市神奈川区　羽沢御嶽講中
川崎市　馬絹講中
所沢市　細山坂東御嶽講
練馬区　久米御嶽講中
狭山市　大泉辛酉講
東村山市　水中御嶽講中
秦野市　壹基替講中
青梅市　秦野太々講中
飯能市　河辺講中
松戸市　一丁目永代御嶽講中
新座市　松戸御嶽講中
大田区　八軒講中
横浜市神奈川区　六郷参拝講中
府中市　菅田南町講中
横浜市港北区　屋敷分御嶽講中
川崎市　篠原講中
　市ノ坪講中
川崎市　京王文化探訪
川越市　宮内講中
川越市　砂久保講中
青梅市　カンタンをきく会
　御岳山観光協会

平成二十四年一月～十二月
川崎市　坂戸御嶽講中
横浜市神奈川区　羽沢御嶽講中
川崎市　馬絹講中
久米御嶽講中
大泉辛酉講
水中御嶽講中
壹基替講中
秦野太々講中
河辺講中
一丁目永代御嶽講中
松戸御嶽講中
八軒講中
六郷参拝講中
菅田南町講中
屋敷分御嶽講中
篠原講中
　市ノ坪講中
京王文化探訪
宮内講中
砂久保講中
カンタンをきく会
　御岳山観光協会

平成二十五年一月～十二月
川崎市宮前区　馬絹講中
新座市　野火止聯合講中
川崎市　中野島講中
秦野市　秦野太々講中
川崎市　末長講中
新座市　貝沼講中
松戸市　松戸御嶽講中
横浜市神奈川区　子安入江講中
大田区　六郷参拝講中
川越市　大中居講中
川越市　藤間伊勢原講中
青梅市　カンタンをきく会
川崎市　御岳山観光協会
　土橋講中

平成二十六年一月～八月
川崎市宮前区　馬絹講中
新座市　中原講中
川崎市　上之台敬神講
川崎市　小仙波講中
川崎市中原区　小杉御嶽講中
新座市　御さがら設備工事
秦野市　秦野太々講中
飯能市　一丁目永代御嶽講中
　明治神宮司至誠館
大田区　六郷参拝講中
　田中為三御一行
板橋区　西台講中
新座市　石神講中